3 年
Lesson 5
part 2

文法名: 仮定法過去 if －be動詞－

記入日

音読

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	

構造: If 主語 動詞の過去形 were ～, 主語 could/would 動詞 ～

意味: もし～だったら、～できる/する のになあ

否定文のルール

疑問文のルール

説明: 実際そうではなく、可能性の低い仮定をいう文法を仮定法過去といいます。「もし～だったら」の動詞は必ず過去形にして、接続詞のifと区別します

注意: be動詞のときは、主語に関わらず、wereを使う

※
- □の部分はすべて覚える
- 元の文法が加えられていない文を書いてもらう
- 文法を加えた文を書いて、チェックをされる
- 否定・疑問・答えをルールにのっとり、作文する
- 解説の枠は青太字で書く
- 覚えるための音読を繰り返しチェックすること
- 日⇔英　に耐えられるようにしっかり覚える

元
英語
日本語

解説
英語: If 主語 動詞の過去形 were ～, 主語 would 動詞 ～
If I were you, I would go to Kita High school.
過去形だから、仮定法過去
日本語: もし私があなただったら、私は北高校に行くのになあ
解説: もし ～ だったら ～ するのになあ

否
英語
日本語

疑
英語
日本語

答
英語
日本語